

1. 事業目標達成状況の評価年月日	平成28年8月29日	最終更新:平成29年3月27日			
2. 地区名	岩首集落、片野尾集落、北片辺集落、小倉集落				
3. 評価者	佐渡市				
4. 事業目標達成状況の評価	(上段):計画 下段:実績				
事業目標	指標	事業前	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	棚田米の販売量(kg)		(2500)	(2750)	(3000)
		2,000	1,500	1,800	3000
	棚田散策ツアー数(回)		(1)	(3)	(3)
		1	2	2	4
	棚田サポーター数(人)		(20)	(50)	(70)
		0	8	10	78
棚田オーナー制度取組地区数(地区)		(1)	(2)	(2)	
	1	1	1	2	
特産物の開発(品)		(0)	(1)	(1)	
	0	1	1	1	
本交付金の評価	平成26年度	農村資源保全推進対策	岩首集落、片野尾集落、北片辺集落及び小倉集落において棚田保全計画を作成し、佐渡の棚田や世界農業遺産を紹介するパンフレット・パネル等を製作したことにより、課題を認識し、課題解決に向けた地区内の管理体制の構築や佐渡の良好な棚田景観が保全・形成された理由について、広くPR効果が現れた。		
		農村資源保全整備対策	岩首集落の棚田景観を一望できる休憩施設を整備したことにより、棚田のもつ美しい景観をPRし、棚田散策者の増加につながっている。		
	平成27年度	農村資源保全推進対策	月布施地域の棚田保全計画を作成し、前年度に引き続き関係するパンフレットを作成し、世界農業遺産を知るツアーやシンポジウムも実施したことにより、棚田景観が保全・形成された理由について、PR効果が現れた。		
		農村資源保全整備対策	北片辺集落に棚田を案内する看板を設置したことにより、特徴的な棚田のPRとなり、棚田散策者の増加につながっている。		
事業全体の評価	全体総評	<p>地域特産物の開発目標は100%を達成し、棚田米の販売目標の達成は、H28年度事業目標達成状況の評価時には83%となった。これは、世界農業遺産の価値等が少しずつ認識され始めた一方で、棚田米に固定の販売先等の販路が決まらず、販売量の計画がたたなかった事が販売量の増加につながらなかった要因と考えられる。</p> <p>しかし、平成28年度末には全国棚田サミットを当地で開催し、効率的な情報発信ができたことにより、棚田米の販売量やサポーターの増加につながり、目標が達成できた。引き続き、佐渡の棚田や世界農業遺産のPR活動を実施し、定期的な販路の模索をすることに努める。</p>			

活動状況写真



休憩施設の設置(岩首集落)



棚田を紹介するパンフレットの作成



北片辺地区ワークショップの開催